

県域 絶滅危惧Ⅱ類



環境省レッドリスト(2018) 絶滅危惧Ⅱ類(VU)

身近な小さな水路や池などに生息する。県内には比較的多い。福井市産 全長:約4cmのオス

メダカ科 メダカ属

【全長】4cm

## キタノメダカ

学名: *Oryzias sakaizumii*

分布域

兵庫県～青森県の日本海側に分布する。

生息域

平野部の河川・湖沼・池・水田・水路などに広く生息する。



水盤や水槽で飼育は容易。簡単に繁殖する。

馴染みの深い種だが、よく他の稚魚と混同される。眼と臀鰭が著しく大きく、注意すると容易に識別できる。身近な池や沼・水田の水路などでもよく見かける。オスの臀鰭は大きく長方形、メスはやや小さい。見分けることは容易。水面付近を集団で泳ぎ、浮遊動物などを食べる。産卵期は春～秋で期間は長い。糸の付いた卵を水草などに絡み付ける。約半年で成熟し、寿命は約1年で、稀に2年生きる。キタノメダカとミナミメダカの2種に分類され、体色や背鰭の形状などに違いが見られる。

飼育は昔(江戸時代)から行われ、専用の餌や水槽・鉢など飼育用品は多く販売される。人工的な改良品種も多く、愛好家も多い。

在来種

移入種

純淡水魚

※ 県内での生息地・生息数はまだ残っているが、メダカの生息環境は小さく壊れやすい。メダカが生息しているという意識がないとすぐにいなくなってしまう。稀に改良品種のシロメダカが自然界でも視られる。